※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　精選言語文化　（第一学習社）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧デジタル版（数研出版）、プレミアムカラー国語便覧準拠ノート（数研出版）、新精選　古典文法三訂版（東京書籍）、新精選　古典文法　準拠ノート　（東京書籍）、三訂版　学習ポイントが見える　よむナビ　古典１基礎編（いいずな書店）、漢文の習得　句形トレーニング（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多様な文章を読むことを通して、考える力・表現する力をつけることができます。そのための基礎として、漢字や語彙、古典文法や古語単語を繰り返し学習し、自分のものとしましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。わからない単語は辞書を引いてきてください。
・提出物は期限を守りましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉で伝え合う力を進んで高めようとするとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古典に親しみ、基本的な文語のきまりを学ぶ ［教材］「児のそら寝」（宇治拾遺物語）、「古文を読むために」	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b[読][書] ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	近現代の小説とその原作である古典作品を読み比べる。 ［教材］「羅生門」	a. ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める方法を学ぶ。 ・読み比べの言語活動を通して、時代性や作者の工夫などの比較をおこなう。 c ・古典作品との読み比べを粘り強く行う。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	我が国の言語文化について理解を深めるために、漢文を日本語で読むことの意義を知る。 ［教材］「訓読に親しむ」「漢文を読むために」	a ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 b[読] 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 c ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	我が国の伝統的な言語文化である文語詩を味わう。 ［教材］甃のうへ（三好達治）	a ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 b[読] ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト
2	話の中で和歌が果たす役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ［教材］「東下り」（伊勢物語）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・用言の活用や助動詞について、文語のきまりを理解する。 b[読][書] ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	我が国最初の日記文学を読み、記録とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ［教材］「門出」（土佐日記）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として助動詞について文語のきまりを理解する。 b[読] 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 c 虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテクストを読み合わせて、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ［教材］古今和歌集	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・主として掛詞・縁語・見立てなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 b[読] 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉える。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、理知的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 ・対象の捉え方の時代による変化を理解し、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 提出物 小テスト
	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ［教材］「漁夫之利」	a ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 b[読] ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト
	現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。 ［教材］「自分の感受性くらい」（茨木のり子）	a b[読] ・現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。 ・「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に話し合おうとしている。		発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※令和４年度以降入学生用

3	思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ［教材］「丹波に出雲といふ所あり」（徒然草）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 b[読] ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査 課題の提出	授業態度 課題の提出 小テスト
	合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ［教材］「木曽の最期」（平家物語）	a ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・歴史的な文体の変化について理解する。 b[読] ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 c ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト
	日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 ［教材］「漢詩のきまり」「日本の漢詩」	a ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 b[読] ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々から影響を受けた日本人の思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c ・普段の生活で触れることのない漢詩を粘り強く読み、我が国の伝統的な言語文化を理解しようとしている。 ・漢詩に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えようとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 発表 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

※令和４年度以降入学生用

	我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、筆者の工夫を理解する。 ［教材］「祭りの笛」	a ・我が国の伝統を知り、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解し、言葉のはたらきについて考えを深める。 b[書] ・伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選び、随筆に書き表す方法を学ぶ。 c ・日本の伝統行事に親しもうとしている。 ・随筆の効果的な書き方について自ら学ぼうとしている。 ・学習の見通しを持ち、粘り強く取り組もうとしている。	課題の提出 定期考査	発問評価 指名音読 作文 定期考査	授業態度 提出物 小テスト

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（１０）時間

・読むこと　…　（６０）時間